

2009年 第1回 大岡川 川の駅運営委員会 議事録

実施日時:平成21年1月24日(土) PM16:10~17:50迄 会場:日ノ出町町内会館2F会議室

出席者:谷口,永井,桐生,高島,菅原,(松田) 欠席者:一ノ瀬,袴田,小林,飯田,鈴木 (敬称略)

1/2

議題:

1) 川の駅運営委員会組織について

当初、川の駅の運営管理とE-ボード購入及び町の活性化を目的に組織団体として活動して来た。現在、有志ボランティア主体で多くの企画イベントを行い、また地域清掃活動、治水事務所との協議調整も行って来ており、ある程度認知を貰ってるが、活動予算の不足やイベントアピールが薄いため、参加者・協力者がまだまだ得られない状況である。

今後、現在までのイベント継続や水上タクシーや横浜開港150周年等の対応が求められる上において、本組織を今後どうして行くかを検討した。

現状組織運営やイベント等を行う上で、事務所や機材保管を含めNPO黄金町エリアマネジメント(以下、NPOと称す)に参画させて貰い、事務所や助成補助を受けさせて活動したら良いのではないかと？

NPOは初黄・日ノ出町エリア限定で、行政主導の組織で、アート関連予算なので川の駅は難しいと思われる。

川の駅は大岡川を主体に多くの地域を取込んで行くものだし、行政から活動拘束を受ける事は避けたい。

もし可能でなら賛助会員として参加し、NPOが行い難い大岡川を活用する企画に対し予算を付けてもらう事。

組織の拡大・拡充を図り、認知して貰う必要性が有るのではないかと？

現状の有志による組織団体だけではなく、多くの賛同者や協力者を集め組織を大きくし認知度を高める必要があると思う。

具体的に、各種イベント、インターネット告知、現在迄の活動の継続を行い、賛同者に参加してもらい告知や協力を促す。

新規に賛同者を募集する。(油井さん、丹羽さん、末吉町の方や桜まつりの各町内の方等)

結論:NPOに本団体として賛助会員として参加が可能で有れば加入して川の駅の近辺に管理事務所も設けもらう。またNPOを含め、行政の助成金・補助金等の地域活動に於ける援助を受ける申請を積極的に行う。

2) 水上タクシーに対する対応について

1月28日に水上タクシーシンポジウムが開催される予定に成っているが、今迄試験運用との名目にて県観光化と関東運輸局と湾岸ライフ事業推進協議会が中心に成り、地域には参加協力をさせずに、高額な税金投入を行って来ている。治水事務所での説明会でも、一度も清掃活動の協力も行わず、施設の片付け、地域との調和も取らない湾岸ライフ事業推進協議会のメンバーに対し、県観光課へ報告と改善要望したが何もなされなかった。

今後、川の駅に水上タクシーを乗り入れを行うのか？

県治水事務所との桜棧橋利用規定において、営利目的利用は認めない事になっている行方場合は規約を改正させる必要がある。

水上タクシーは出来れば本団体組織で行って行ければ、地域の活性化や雇用確保に繋がる。

また、今後A地区の再開発エリアが進めばA地区へ水上タクシー乗り場へ移し、川の駅は人力ボートや生物観察の場所として、目的分けをした活用が望ましい。

本運営委員会として何も対応策を取らないのか？

今後、水上タクシーを行うのであれば、湾岸ライフ事業推進協議会に参加するか、此方から行政へ水上タクシー申請し、桜棧橋の維持管理、イベント協力、清掃活動に参加協力並びに援助を貰う様交渉をする。

結論:1月28日のシンポジウムに於いて、川の駅運営委員会として大岡川活用の現状と要望を提案する。

また小林さんから藤木さんへの参加協力の調整をお願いする。

3) 治水事務所に対する要望書について

別紙活動報告に明記した内容の要望を提出する予定。

追加要望として、ポンツーンの設定要望を提案。

4) E-ボートの増船対応と貸出ルールについて

学校や子供関連施設には、宣伝効果も高い為無料貸し出しでも良いのではないかと？

その方向で調整。

増船対応について、現在、一ノ瀬さんがトラストへ申請中だが可能性が低い。

野毛を始めまだまだ、E-ボートに対する認知度が低いので、引き続きイベント等の開催を増やし参加協力して貰える人を増やす。また、他の助成金含め今後助成申請を行って行く。

貸出予算は、桜まつり等を考慮して早急に再度金額設定・貸出ルールを決める必要がある。

担当者が欠席の為、次回の桜まつり実行委員会等で調整しルールを決める。

5) 会計報告について

会計担当より設立時(平成19年)よりの会計報告を行って貰った。
資産が無い中、多くのイベント等を行って来ているが、殆どが地域の寄付とメンバーの負担によるものなので、
今後も今以上に、イベント毎にE-ボートの寄付金含め、寄付箱で募金を募る。
また、1)組織運営にある様に、NPOを初めとし他の賛助金申請を行いメンバー負担が少なく活動出来る様にする。

6) HPについて

本団体の活動報告や大岡川の状況観測がWebカメラで見れる様に現在調整中。

7) 新規メンバー紹介

現在まで、何度も川の駆運営委員会イベントに協力参加して頂いた、「松田 俊夫」氏日ノ出町在住。
を正式に委員会メンバーとして提案し、出席者の同意の元メンバーとなりました。

上記の議題討議を行い、17:50分に会議を終了しました。

以上。